

電気火災を防ごう！

「川越市及び比企郡川島町」では、直近3年間下半期（平成29年から令和元年までの7月から12月）の火災原因トップは、放火を抜いて、**電気に関する（プラグ、ケーブル、コード、配線、電池等が含まれます。）** ものです。

その中でも、トラッキング及びショート（短絡）が半数以上占めています。ここ最近では、充電電池（バッテリー）からの出火も増加しています。

【トラッキング現象による出火】

トラッキング現象とは、長期間、コンセントに差し込みプラグを差し込んだままの状態で使用すると、コンセントと差し込みプラグの隙間に水分や湿気を含んだほこりなどが付着して、微小な放電（電流が流れる）が繰り返され、電気回路（トラック）が形成され出火する現象です。

【対策】

- ①コンセントと差し込みプラグの隙間にほこり等をためないように定期的に清掃を行いましょう。
- ②差し込みプラグは、使用時以外コンセントから抜くようにしまししょう。

【ショート（短絡）による出火】

例えば、電気ヒータ（1000ワット）とオーブントースター（900ワット）を同時に使い、配線に制限以上の大きな電流が流れたり、たこ足配線などにより、一度に多くの電気機器を使用し続けると、発熱して出火することがあります。

【対策】

- ①コンセントや延長コード（タップ）には、使用できる電力量に制限があります。一般的には、1500ワットです。
- ②それぞれの電力量を確認して使用しまししょう。
- ③コードが家具などの下敷きになったり、日常的に踏みつけ、傷ついたりしないように注意しまししょう。

【充電電池（バッテリー）による出火】

メーカー指定の充電器を使用していない、又は、充電電池の使用に応じた設定で充電をしていないことから過充電となり出火に至っています。

【対策】

具体的な要因は、充電方法の誤りですが、以前と比較して減りが早くなったり、充電に時間がかかる、充電時に以前よりも熱くなるような場合は、使用をやめまししょう。電気関係全般にいえることですが、使用する前に製品の取扱説明書を、よく読みまししょう。

